
小日向台町町会主催
環境ワークショップ・小日向のまちづくりを考える
第9回 令和6（2024）年 2月 23日

周知方法：町会掲示板のポスター、および町会Facebookで
内 容：小学校建替問題・今後の進め方について

行政（文京区）に対して

- ・ 報告書の成果がないのに、支払いがある。
これは大問題
- ・ 情報公開で、支払いの調査・検査が必要
- ・ 委員会で復興小学校の保存の話は、
全く情報提供されず
椎木の保存では、調査報告があったが
- ・ コロナで成果品が遅れたのは、全国での話
特段の理由にはならない。

議会（区議会議員）に対して

- ・ 区議会議員の理解がない
- ・ 区議と町会の対話が必要
- ・ 区議会の自治制度委員会は、機能していないのでは
ないか。
- ・ 区議に呼びかける
- ・ 区議会が参考意見を聞く住民は、組織の代表では
なく、ランダムにする。
- ・ 審査委員も同様に
- ・ 区議とのワークショップを行うことが必要

住民合意をどのように考えるか

- ・町会のあり方を考えることが必要
- ・住民合意の方法について、区が発言している委員会に組織代表がはいれば、住民合意となるのはおかしい。
町会に伝えていると区の発言はおかしい。
- ・委員会に町会からの代表がいるので、住民説明しないという区の発言はおかしい。
- ・住民合意のシステムを考えることが必要
- ・住民合意のシステムを考えることを要望
- ・住民合意の見直しが必要
- ・住民提案をしていく 条例の作成も必要
- ・文京区オンブズマンとの連携

大塚公園の成功例

- ・わかりやすいテーマ 公園を潰すな
話題性 方式をたてる。
- ・大塚公園は住民説明をした。
小学校改築問題は、区は住民説明していない。

そもそも計画がない

- ・全体計画がない 長期計画がない 将来予測がない
- ・第2報告書 区が作成と発言
- ・自校方式やめる 複数発言
- ・住民が提案 計画案の作成と方法を提案
- ・財務省跡地計画に駐車場必要

今後の進め方

① 次回のワークショップは、区議会議員参加で行う

報告書も問題と今後の対応について
区議に参加を呼びかける

報告書の問題点については、区議に対する対応とともに
11町会長、地域組織代表委員に対する対応が必要

② 報告書の問題点をより明確にするための情報公開の手続き

令和2年、令和3年、令和4年の契約書にもとづいた

- ・ 検査に合格した資料
- ・ マヌの請求書
- ・ 区の支払いがわかるもの

③ 勉強会を進めていく

地区計画制度、条例など専門的な内容については、知識が必要
勉強会を開催

第9回目

2月23日（金）14:00

大塚地域活動センター

参加者20名

挨拶：環境委員長 小林秀一

ワークショップ：全員参加

